

事業所名：グループホームあおぞら

作成日：令和2年2月18日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3 4	当事業所を開設以来、粟生小学校との交流は継続して行われているが、最近では保護者の意識が変わってきており、交流は小学校との連携で行われている活動であるが、保護者の理解を得られるような取り組みが必要になってきている。	こども哲学カフェを定着させ、家庭でも家族と共に、当事業所で行ったことが話し合える仕組みに努める。	運営推進会議や認知症カフェにおいても、こども哲学カフェを話題として取り上げ、児童の活動を通して、共生社会の在り方を話し合っていく。	12ヶ月
2	27	利用者の日々の様子やケアの実践・結果、気付きや工夫を記録し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画を作成する。	事故報告書やヒヤリハット報告書の作成は当然であるが、そこに至らない事例も日々体験しているはずである。そのような事例を「ドキドキ・レポート」として作成し、次回のカンファレンスでの確実な疑問の解消に繋げる。	少なくとも2カ月に1回は「ドキドキ・レポート」を作成し、発表する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。